

株式会社 めぐみが農場HACCP認証農場に認定されました！

～採卵養鶏での取り組み～

(一社) 岡山県畜産協会

令和2年3月30日、浅口市鴨方町の(株)めぐみが農場HACCP認証を取得しました。当農場では、瀬戸内海に隣接する里山で解放鶏舎による採卵鶏6000～7000羽を飼養されています。鶏舎の隣にある「めぐみのマルシェ」で生みたて卵を販売するほか、東京から地元岡山まで個人宅配で全量を自社で販売されています。

農場 HACCP 取組みの契機は、生産物の安全性を客観的に担保できる農場 HACCP 認証によって、卵の付加価値を高めること、そして、現社長が先代から経営を継承した経験から、誰もが農場内作業を理解できるようなマニュアル整備をすすめることでした。

平成30年4月18日から月一度の農場HACCP推進会議を重ね、規定書17つを作成し、記録16種を整備しました。平成30年7月には西日本豪雨の被害に見舞われ、システム構築を一時中断せざるを得なかったものの、鶏舎の改修を経て、今年3月に認証審査に至り、着手から約2年で認証取得となりました。

社長は取組みのメリットとして、井笠家畜保健衛生所やMPアグロ、畜産協会といった外部支援員を交えた推進会議の中で、農場の衛生レベル向上したことを挙げられました。また、システム構築を通して、農場の現状を把握することができ、記録付けなどシステムを運用していくことで、従業員の日々の作業状況を管理しやすくなったというメリットもあったようです。

県内では酪農、肉用牛(繁殖・肥育)、養鶏と徐々に農場HACCPの取り組みが広がっています。畜産協会では今後も関係機関と連携し、畜産農家での取り組みを支援していきます。



農場 HACCP 推進会議の様子



認証審査の様子



農場の入り口付近には関係者以外の立ち入りを制限する標示と石灰帯の設置が行われている。